

スズキ、パキスタンで 660cc エンジンを搭載した 新型「アルト」を発売



パックスズキ社製の新型「アルト」

スズキ株式会社のパキスタンにおける四輪車、二輪車の生産販売子会社パックスズキモーター社（パックスズキ社）は、**新型「アルト」**を6月15日より販売開始した。

新型「アルト」は、日本で販売している軽自動車「アルト」と同じ全長・全幅のボディに、優れた燃費性能と力強い走りを両立する 660ccのR06A型エンジンを搭載し、パキスタンの道路事情を考慮して最低地上高を高くするなど、使用環境に合わせた変更を施している。運転のしやすさ、使い勝手のよさ、ゆとりある室内空間など、日本で磨いた高い基本性能を、お求めやすい価格で実現した。

パックスズキ社は 1982 年の生産開始以来、日本の軽自動車をベースに 800～1,000cc のエンジンを搭載したモデルを中心に生産を行ってきた。スズキの海外拠点で、現在の日本の軽自動車規格と同じボディと排気量を採用したモデルを生産するのは、今回が初めてとなる。経済性、信頼性が高く、高性能な軽自動車を、日本のみならずグローバルに展開することで、スズキが強みとするコンパクトカーの更なる普及を図っていく。

●新型「アルト」の主要諸元

- ・全長×全幅×全高：3,395 mm× 1,475 mm× 1,490 mm
- ・エンジン：R06A型（660cc）
- ・トランスミッション：5MT／AGS
- ・価格：999～1,295 千ルピー（約 779～1,010 千円※） ※0.78 円／ルピーで換算